別記
第1号様式(第3条関係)

通　勤　届

決　裁	(伺い)　下記のとおり認定してよろしいか			受付
	決裁権者	回議	係	

所属長　殿		勤務課(所)名	
		所在地	
職名		氏名	㊞
住居			

鹿児島県職員の通勤手当支給規則第3条の規定により，通勤の実情を届け出ます。

届出の理由<該当する□にレ印を付する。>
□新規(□異動等に伴う通勤経路又は方法の変更の場合)
□住居の変更
□通勤経路又は方法の変更
□運賃等の負担額の変更
□その他(　　)

□ 直前の届出の区間と同一の区間がある
(該当する区間に係る順路欄の□にレ印を付する。)

(届出の理由が生じた日)
年　月　日

順路	通勤方法の別	区間	距離	所要時間	乗車券等の種類	左欄の乗車券等の額	備考
1 □	(　　)	住居から(　　経由)　まで	.　km	分		円	
2 □	(　　)	から(　　)　まで	.　km	分		円	
3 □	(　　)	から(　　)　まで	.　km	分		円	
4 □	(　　)	から(　　)　まで	.　km	分		円	
5 □	(　　)	から(　　)　まで	.　km	分		円	

他に利用できる交通機関等の名称及び利用区間等		総通勤距離	.　km
		総所要時間	分

記入上の注意
1 「通勤方法の別」欄には，住居から勤務公署に至る通勤の順路に従い，徒歩，自転車，○○バス，○○線等の別をもれなく記入し，下段の( )には特急，新幹線，高速道路等の別を記入すること。
2 「乗車券等の種類」欄には，定期券(○箇月)，回数乗車券(○○枚つづり)，普通乗車(船)券，優待乗車(船)券等の別を記入すること。
3 「左欄の乗車券等の額」欄には，定期券(○箇月)等の左欄に記載したその種類に応ずる額を記入すること。
4 「備考」欄には，定期券を持たない理由，回数券の片道及び月間の使用枚数等を記入すること。また，往路と復路が異なる場合は，その旨と理由を記入すること。
5 「他に利用できる交通機関等の名称及び利用区間等」欄には，名称，利用区間，所要時間，○箇月運賃のほかに，当該交通機関の運賃が現在利用している交通機関の運賃より低廉の場合は，当該交通機関を利用しない理由を具体的かつ詳細に記入すること。
6 通勤経路の略図(経路朱線)を添付すること。

【給与条例第11条第3項又は第4項の適用を受ける職員(特別急行列車等利用者)】<該当する□にレ印を付する。>
□1 異動等に伴い，通勤が困難になつたことにより特別急行列車等を利用することとなった職員
□2 単身赴任手当を受給していた職員で，配偶者と同居し通勤が困難となったことにより特別急行列車等を利用することとなつた職員
□3 その他の職員(上記1又は2以外の職員)

※現公署への異動発令年月日　平成　年　月　日		※異動等前の住居への入居年月日	年　月　日
※異動等の直前の住居		※現住居への入居年月日	年　月　日

特別急行列車等利用者の特別急行列車等を利用しない場合の通勤の経路及び方法等

順路	通勤方法の別	区間	距離	所要時間	備考
1		住居　から(　　経由)　まで	.　km	分	
2		から(　　)　まで	.　km	分	
3		から(　　)　まで	.　km	分	
4		から(　　)　まで	.　km	分	
5		から(　　)　まで	.　km	分	

他に利用できる交通機関等の名称及び利用区間等		総通勤距離	.　km
		総所要時間	分

記入上の注意
1 ※欄は，□1にレ印を付した職員のみ記入すること。
2 「通勤方法の別」欄には，住居から勤務公署に至る通勤の順路に従い，徒歩，自動車，○○バス，○○線等の別をもれなく記入すること
3 特別急行列車等利用者の特別急行列車等を利用しない場合の通勤経路の略図(経路朱線)を添付すること。